

一般社団法人日本機械学会

エンジンシステム部門

2025年度 第2回九州先進エンジンテクノロジー研究会 議事録

主査：北川敏明（九州大学）

幹事：松田大（九州大学）

日時：2025年9月19日（金）14:00～15:30

場所：現地会場とWeb オンラインでのハイブリッド開催

会場：九州大学伊都キャンパス

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 W4-311

出席者：委員 12名 他 15名 計 27名(現地 18名, オンライン 9名)

2025年度第2回九州先進エンジンテクノロジー研究会が、九州大学伊都キャンパスにおいて開催された。学生の参加も多く、積極的な質問が寄せられるなど、盛会となった。以下にその概要を記す。

研究会 14:00～15:30 (現地+オンライン)

(1) 主査挨拶および委員自己紹介 14:00-14:05

挨拶概要：主査挨拶および委員自己紹介 14:00-14:05

挨拶概要：このような対面での開催で委員相互の交流をより活発にする。九州地方の小さな研究会であり、密接な交流を継続していきたい。今回は、委員の森上先生に加えて、東北大学より KUNKUMA 先生をお招きし、ご講演いただく。

(2) 講演 1 14:05 - 14:45 : 「液滴燃焼あれこれ」

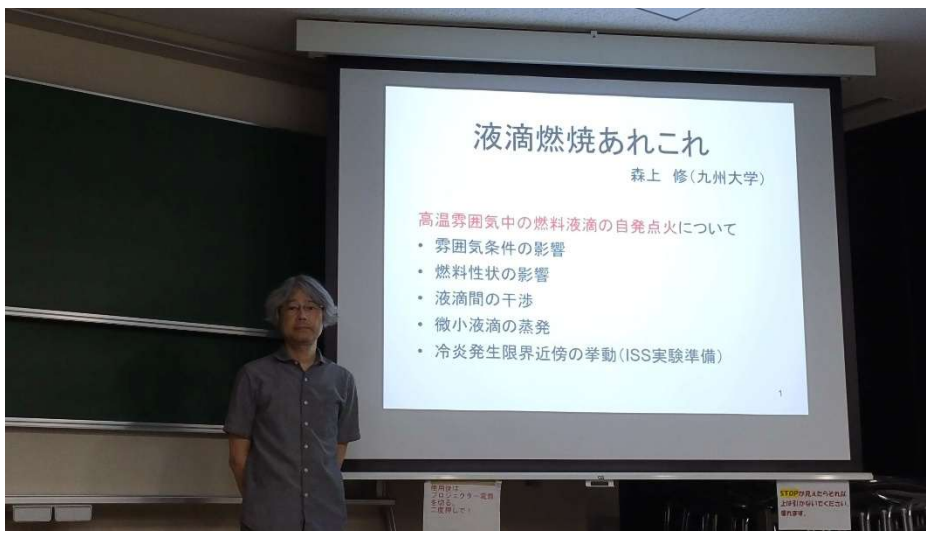
講演者 : 森上修 氏 (九州大学)

講演概要：液滴の自発点火に関する研究内容についてご説明いただいた。冷炎と熱炎の分類、それらに関する物理・化学プロセスの関係、さらに燃焼現象に対するダムケラー数を用いた自発点火の整理など、興味深い内容が紹介された。

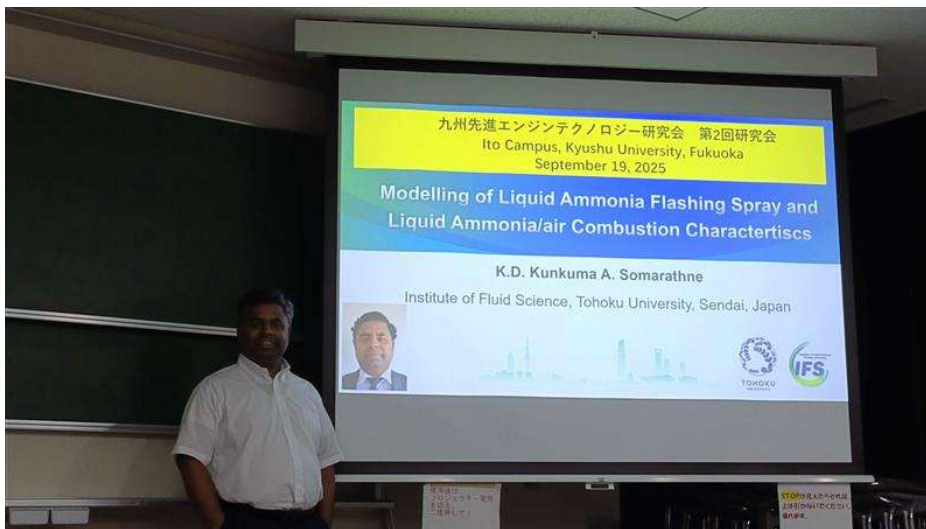
(3) 講演 2 14:25 - 15:05 : 「Modeling of Liquid Ammonia Flashing Spray Characteristics and Liquid Ammonia/air Combustion」

講演者 : K.D.KUNKUMA A. SOMARATHNE 氏 (東北大学)

講演概要：液体アンモニア燃焼に関する研究成果をご発表いただいた。炭化水素燃料との比較、Fuel NO_x の生成過程とその制御方法、水素との混焼シミュレーションなど、カーボンニュートラル燃料の有効利用に向けた最先端の研究内容であった。



講演 1 森上修氏



講演 2 K.D.KUNKUMA A. SOMARATHNE 氏



集合写真 (研究会後終了後)